

令和5年度の学校運営と来年度に向けて（学校評価から）

千葉市立犢橋中学校
校長 宮崎 貴之

今年度は新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられ、少しずつコロナ禍以前の形となるような教育活動を実施することができました。今年度につきましても例年同様2回（9月・2月）の学校評価アンケートを実施いたしました。昨年より生徒及び教職員にはギガタブを使用して調査し、また、保護者は学校家庭連絡メール『すぐーる』を使用し調査しました。

さて、学校は信頼される公教育の確立をめざして、学校教育目標・活動状況・成果などの教育活動全般に関する情報を保護者や地域に積極的に発信し、説明責任を果たしていくことが強く求められています。本校においても、保護者や生徒の期待に沿う学校づくりを推進するため、保護者や生徒、教職員から学校評価アンケートを実施いたしました。

つきましては、その結果を報告するとともに、調査結果をもとに来年度の学校運営の指針としていきます。

1. 学校評価とは

学校評価は学校の教育方針に則り、努力目標を具現化するため、日々の活動を点検・評価するもので、学校運営や教育活動の改善に活かし、学校の力を高めることを意図したものです。すなわち、生徒のよりよい人格形成のために学校評価を行い、教育の質を保証することを目的とすることで、学校評価システムの構築を図り、「開かれた学校づくり」「保護者・地域から信頼される学校づくり」を目指すものです。

2. 実施内容

生徒、保護者、教職員を対象に意識調査を行い、実態の把握に努めました。各調査項目の回答については、4段階方式を採用し「評価4：そう思う（大いに成果あり）」「評価3：少しそう思う（課題も 多少あるが成果のほうが多い）」「評価2：あまりそう思わない（課題があるが、深刻な状況ではない）」「評価1：まったく思わない（直ちに改善措置が必要である）」の項目を設定しました。そして、評価4と評価3を肯定的な結果、評定2と評定1を否定的な結果と捉え、その割合を基に分析をいたしました。

3. 生徒・保護者及び教職員のアンケート結果 別紙をご参照ください。

4. 今年度の学校評価を振り返って

【学習指導】

・本校では「わかる授業」を重点目標とし、各教科で授業研究等を行い、教員の指導力の向上や授業改善に取り組んできました。また、各教科で本時の授業の流れ・目標を「授業のメニュー」として示すことで、授業の見通しがもてるようなアプローチを進めてきました。しかしながら、近年、本校の英語の力が千葉市学力状況調査等の結果からやや不足していることが判明しています。そこで昨年度より、ESL (English Support Lesson 英語補習学習会) を実施しております。

英語の力をさらに高めることを目的とし、各学年希望生徒を募り、週一回放課後に学習会を実施いたしました。これからも同様のプログラムを行っていく方向で検討しております。また授業においては、わかりやすさを追求し、様々なことを可視化する方策を

行い、「確かな学力の育成」に取り組んでいます。

- ・本校の課題の一つとして生徒の「基礎学力の定着」があげられます。単元終了後の章末テストや定期テスト結果を観ると日々の学習の成果が十分に発揮されていないことが現状です。別紙「学校評価アンケート【生徒】N019：授業に楽しく取り組んでいる」から約83%の生徒が「評価4」「評価3」の回答を示しています。また、「N019：授業内容は理解できている」においても約77%の生徒が「評価4」「評価3」の回答を示しています。このことから多くの生徒が日々の授業に対し「学ぶ意欲」「学習への取組」については意識が高いことがうかがえます。しかしながら、学習した内容を振り返る場面である「家庭学習」がやや不足していることが考えられます。（「学校評価アンケート【生徒】N023」、【保護者】N021 から）

そのため、今年度新たな試みとして国語、数学、英語の3教科に絞って家庭学習プリントを1日1枚配布し、家庭で継続的に学習を進めることができるようにして参りました。まだまだ家庭学習の定着率は高いとは言えませんが、少しずつ成果が出始めているところと実感しております。今年度の活動を踏まえ、次年度においても継続して「家庭学習の推進」「学習の振り返り」そして「基礎学力の定着」を図っていきます。

【学校生活・生徒会活動】

- ・「学校評価アンケート【生徒】N06：思いやりの気持ちを持って人と接している」の項目では90%以上の生徒が「評価4」「評価3」の回答を示しています。また、「学校評価アンケート【保護者】N06：お子様は人を思いやる気持ちが育っている」の項目においても約90%の保護者が「評価4」「評価3」の回答を示しています。このことから「他の人に立場に立って考えるようにしている」ことが伺えます。「他の人の立場に立つ」とはどのようなことなのかを指導の基本とし、さらに互いを尊重しあえる人関係作りの構築に取り組んでいきます。また、「学校評価アンケート【生徒】N08：生徒会活動や係活動、給食当番活動にしっかり取り組み責任を果たしている」については95%以上の生徒が「評価4」「評価3」の回答を示しています。学校を生徒が創り上げるという気持ちが育っていることが伺えます。今後も学校生活の基盤である学年・学級において、好ましい人間関係や集団を形成するために、道徳教育の充実、リーダーを育てていくことはもちろん、「いじめ防止」や「人権意識の醸成」に努めます。また、生徒一人一人の居場所づくりに尽力していきます。
- ・「学校評価アンケート【生徒】N011：ボランティア活動への取り組んでいる、または関心がある」の項目では約70%の生徒が「評価4」「評価3」の回答を示しています。他の項目と比較すると来年度以降も継続して力を入れていきたい活動となります。本年度は年に1回行っている、育成委員会主催の地域の環境整備活動に多くの生徒が自ら参加しておりました。今後もボランティア教育を推進すべく様々な活動を通して、「心の教育」の充実に努めます。また、将来の地域を担う人材育成という視点に立ち、「郷土愛」を育むことにも繋がるため、地域行事への参加を推進していきます。
- ・学校生活への満足度や学校行事への取組では、ほぼ85%以上の生徒が肯定的な回答でした。さらに生徒の主体性を伸ばすために、充実感や達成感を得られる指導に努めます。

【家庭・地域との連携】

- ・今年度は、授業参観や保護者面談、PTA活動、各種行事等を通じて学校への理解と協力を深めていただく場を多く設けることができました。次年度も引き続き家庭と連携を取りながら教育活動を推進して参ります。なお令和6年度の行事については、授業参観（4/27、10/26）、体育実技発表会（5/18）、合唱コンクール（10/28：千葉市若葉文化ホール）等を予定しています。
- ・学校評価や学校評議員制度を有効に活用し、より一層の「開かれた学校」づくりに努めま

す。なお、学校評議員会は令和6年度も年間3回を予定しております。

- ・学校運営に関してはさらに情報公開が図るために、学校のホームページを活用して、学校案内や学校経営計画、学校評価をはじめ多くの情報を伝えるよう努めます。

【進路指導】

- ・キャリア教育については、各学年調べ学習や副教材を活用しながら進めて参りました。来年度は体験的な学習や外部講師を招くなどの学習を織り交ぜながら、進路意識の高揚を図ることはもちろん、望ましい勤労観や職業観を持てるように系統的な指導に努めます。
- ・毎年のように私立高校や公立高校の入試制度が変わってきています。次年度は公立高校の出願がすべてWeb出願になるといった変化も見込まれています。そのために保護者対象とした進路説明会を含め、進路全般に関する情報をより分かりやすく提供するよう努めます。

【基本的生活習慣及びマナーや規範意識の向上】

- ・基本的生活習慣（挨拶・身だしなみ・時間を守る）や規範意識（「学校評価アンケート【生徒】N02、N03、N04）では、約85%以上の生徒が「評価4」「評価3」の回答を示しています。この結果から本校は、非常に落ち着いて学校生活を送れていることが理解できます。しかしながら、「学校評価アンケート【保護者】N03：お子様は時間を守って生活している」の項目では約60%の保護者が「評価4」「評価3」の回答を示しており、生徒との差異が生じていることがわかりました。社会性を身につけるためにも基本的生活習慣の指導を継続して行っていくことと同時に家庭との連携、情報共有など適宜行います。
- ・「学校評価アンケート【生徒】N013」「学校評価アンケート【保護者】N013」の学校からの配付物が確実に手渡されていないことが見受けられます。学校の情報が早く的確にお伝えできるよう、「学校ホームページ」「すぐーる」の活用を推進していくことを次年度取り組む予定です。
- ・生徒同士、生徒と教師の共感的な人間関係を大切にした学年・学級経営をより推進していきます。生徒の人権を尊重するとともに、生徒理解に努め生徒と教師の信頼関係を築いていきます。また、日頃から生徒の悩みや相談に対して、いつでもしっかりと向き合っていきます。

【学校評価の改善】

- ・学校評価結果を文書やホームページ等を通じて広くお知らせしています。さらに評価項目等を工夫し、学校運営に活かしていきます。今後も一層のご理解とご協力をお願いします。